

施策評価シート(令和3年度)

(基本施策の大綱) 5. 市民力・地域力の活性化

(基本施策) (3) 共生社会の推進

(評価担当者)

市民文化部長 辻村 俊孝

■基本施策が目指す姿

市民一人ひとりが、互いに人権を尊重し合い、多様性を認め合いながら、ともに暮らしています。

■関連する分野別計画

第3次亀山市男女共同参画基本計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	人権啓発イベント参画団体数	団体	21	H28	20	21	21	20	20	24
2	審議会等における女性の登用率	%	36.1	H28	37.3	33.9	32.9	32.0	33.5	40.0
3	ワーク・ライフ・バランスに積極的な取り組みを行う事業所数(累計)	社	—	H28	0	0	2	3	5	6
4	日本語教室の年間延べ受講者数	人	648	H27	1,051	739	626	77	63	700

■市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察	
1 人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	重要度	0.83	0.71	人権啓発・男女共同参画・多文化共生ともに重要度・満足度が上昇の傾向にあるものの、市民の意識は相対的に高くない。人権尊重や多文化共生に関する市民意識の啓発に向けた取り組みを進めているものの、市民意識に変化が見られないことから、市民に対してより一層啓発を行っていく必要がある。	
	満足度	▲ 0.48	▲ 0.48		▲ 0.44
2 男女が平等に社会参加できる環境が整っている	重要度	0.89	0.85		0.86
	満足度	▲ 0.15	▲ 0.35		▲ 0.26
3 外国人住民との交流が活発に行われている	重要度	0.58	0.52		0.57
	満足度	▲ 0.72	▲ 0.80	▲ 0.68	
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んだ	人権意識の啓発については、条例や人権施策基本方針に基づき、ヒューマンフェスタをはじめ様々な啓発活動に取り組んだ。また、多文化共生の推進については、12言語に対応した外国人生活相談窓口を設置するとともに、多言語版広報誌を毎月発行するなど外国人に対する相談と情報提供など順調に施策を推進できた。さらに、男女共同参画の推進については、第4次男女共同参画基本計画を令和4年3月に策定し、施策を総合的、計画的に推進していく考え方を市民に示すことができた。また、ワーク・ライフ・バランスの推進では、推進賞表彰などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業を支援できた。一方、成果指標による人権啓発イベント参画団体数などの数値が伸びていないなどの課題があり、ダイバーシティ社会の実現に向けた更なる取り組みが必要と考えられることから、総合判定をBとした。
	反省点・課題 人権施策の推進については、関係機関との連携・協力を進め、あらゆる人権問題に総合的に取り組み、人権尊重に立った施策推進を図るとともに、今後も、新型コロナウイルス感染症に起因する人権侵害や性的マイノリティ(LGBTQ)の人たちへの偏見等、複雑化・多様化が進む人権問題の解消に向けた取り組みが必要である。一方で、多様な働き方によるワーク・ライフ・バランスの推進については、コロナ禍を契機に働き方が多様化してきたことから、働き方改革の促進により、働きやすい環境づくりを目指す取り組みを含め、ワーク・ライフ・バランスに対する機運の醸成を図っていくとともに、市民に向けた男女共同参画意識の醸成についても関係機関と連携して推進していく必要がある。また、日本語教室を安定的に継続し、多文化共生を推進するため、活動団体を支援する必要がある。

今後の展開方針

共生社会の推進に向けて、引き続き「ヒューマンフェスタin亀山」等を通じて、市民の人権意識を高めるための取り組みを進めるとともに、法務局並びに人権擁護委員との連携により、複雑化・多様化する人権問題の解消に向けて、引き続き相談業務や啓発活動に取り組む。また、新たに策定した第4次男女共同参画基本計画に基づき、性別に関わらず誰もが生き生きと輝く社会の実現を図るため、更なる男女共同参画の意識啓発や情報発信等に努めるとともに、あらゆる場への女性の参画拡大を図っていく。一方で、ワーク・ライフ・バランスの推進については、事業自体が企業向けの働き方改革へと変化しており、庁内各部署間の連携を図り、事業を再構築していく。また、日本語教室を運営する活動団体において、会員の高齢化や会員数が減少傾向にある中、後継者の募集育成等、団体と協力連携して支援していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 人権を尊重し合えるまちづくりの推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
A	活動	第17回ヒューマンフェスタin亀山を開催したほか、三重県人権・同和教育研究大会鈴鹿、亀山大会に参画し、関係団体とともに人権に関する取り組みを報告した。また、教育機関、県などの人権に係る協議会や研修会等に参画した。さらには、法務局との連携により、人権擁護委員を配置し、各種相談体制の充実等に努めた。	評価	ヒューマンフェスタに地域や多数の関係団体が参画し、様々な視点から人権問題を捉えることで、市民の人権意識の向上に繋がった。また、人権に係る各種大会、協議会、研修会に参画し、各種関係機関との連携が図られた。さらに、法務局並びに人権擁護委員の相談業務や啓発活動により、複雑・多様化する人権問題の解消が進められた。		
順調に進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19254	一般事業(共生社会推進事業)	標	1,900 / 1,627	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	人権ポスターの募集展示・啓発チラシの作成配布				A	A

施策の方向② 男女共同参画の推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	亀山市男女共同参画情報誌を発行するとともに、関係団体との連携により、男女共同参画の周知啓発を行った。また、第4次男女共同参画基本計画を令和4年3月に策定するとともに、審議会等における女性の登用率の向上に向け、全庁的に取り組んだ。	評価	コロナ禍で事業が予定通り開催できなかったものの、市民活動団体「アクティブ亀山」や県男女共同参画センター等の関係団体と連携を図り、ハラスメントやDVなどの防止対策の啓発など男女が心身ともに健やかに安心して暮らせる環境整備を図った。また、男女共同参画基本計画を策定し、今後、施策を総合的、計画的に推進していく考え方を市民に示すことができた。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19251	男女共同参画事業	標	315 / 272	B	B
	3134	女性相談事業	標	2,660 / 2,525	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ ワーク・ライフ・バランスの推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	11月13日から28日までの16日間をワーク・ライフ・バランス週間として位置づけ、期間中には、ワーク・ライフ・バランス推進表彰・講演会、社会教育施設等の無料開放及びパネル展示を実施した。また、同時に、市民や事業所に対して、広報、ホームページ、リーフレット等による啓発活動に取り組んだ。	評価	働きやすい職場環境づくりに取り組む市内事業者5社を表彰し、市広報等で広く周知することで、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業を支援できたほか、家庭や職場の現状を見つめ直す機会を提供できた。一方で、事業自体が企業向けの働き方改革へと変化しており、庁内各部署間の連携を図り、事業を再構築していく。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17101	ワーク・ライフ・バランス推進事業	主	526 / 466	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向④ 多文化共生の推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	12言語に対応した外国人生活相談窓口を設置するとともに、多言語版広報誌を毎月発行した。また、コロナ禍により2ヶ月のみとなったが、感染症予防対策を図りつつ日本語教室を開催したほか、外国人集住都市会議に参加し、国へ提言を行うとともに、県のワーキングに参加し、外国人住民の取り巻く各種課題の把握に努めた。	評価	多言語による外国人生活相談窓口設置と広報誌発行により、外国人住民への情報提供と様々な生活課題に対応した支援ができた。また、外国人住民を取り巻く各種課題に対し、県内自治体との情報交換や国へ提言書の提出を行うことで、多文化共生の推進に寄与した。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19290	国際化推進事業	標	6,791 / 6,375	B	B
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	多言語版広報誌「かめやまニュース」の発行				A	A